

お知らせ

平成31年3月19日
国土交通省 北海道開発局
帯広開発建設部

国道236号野塚峠^{のづか}防災検討会(概要)

帯広開発建設部では、近年の大雨により土砂流出や雪崩といった災害の課題のある国道236号野塚峠について、有識者による検討会を開催し、課題の解消に向けた対策(案)について議論しました。議論の結果、主な結論として以下のとおり、とりまとめました。

- 国道236号野塚峠の土砂流出・雪崩等の防災課題箇所が集中する箇所は、地形状況及び近年の大雨・降雪状況を踏まえ、川見地区についてはトンネル等による別線整備、野塚トンネル坑口部についてはスノーシェルター等による雪崩対策が望ましい。
- 今後、地表地質踏査、地質調査等により、現地の地形・地質を適切に把握しつつ、詳細な設計を進めて行くことが必要。

- 開催日：平成31年3月18日(月) ※
 - 場所：寒地土木研究所 第3実験棟3階 大会議室
 - 有識者：木幡 行宏 室蘭工業大学教授
：川村 信人 NPO法人北海道総合地質学研究センター理事
：山田 知充 NPO法人雪氷ネットワーク理事長
：倉橋 稔幸 寒地土木研究所 首席研究員
- ※個別持ち回りによる説明を実施し、3月18日に全委員への説明、了承を以て委員会意見としてとりまとめを実施。

□位置図



□災害の発生状況

大雨等による沢部からの土砂流出や雪崩により現道の通行止めが近年多発

写真① 雪崩・土砂流出発生 (H30.3)



写真② 雪崩発生 (H30.3)



□概要図



■問い合わせ先 国土交通省北海道開発局帯広開発建設部
道路計画課 課長 西山泰幸 道路調査官 気田堅実 電話番号 0155-24-4106